

不安定化する日本の政策、経済「好循環」を実現するために何が必要か

経済ジャーナリスト
須田 慎一郎 氏



経済と政治は表裏一体のもの

本日お話する一番の重点は、これから日本経済・景気はどのように動いていくのか、ということです。ただし今の講演会は経済の話だけで終始するわけではありません。皆さんは法人会の方々ですから、日頃から経済に関心が強く、アンテナを高くして様々な形で情報収集されていると思います。しかし今まで皆さんが目にし耳にしてきた専門家たちの立てた予測、見通しは必ずしも当たっていなかったのではないのでしょうか。

では何故当たらないのか一私なりに調べてみたら、その理由がわかりました。経済、株価、為替の予測を立てる専門家は経済の動きしか見ていないからだと思います。経済の動きをしっかりと分析して予測を組み立てていくというのは非常に重要なことですが、何が足りないかという政治の動きなのです。ときの政権はどんな政策を打ち出そうとしているのか、その政策が果たして役に立つ政策なのか、またやり遂げるだけの政権基盤は安定しているのか、総理大臣のやる気度はどうか、周囲は協力的なのか…などを常にきちんと見ていかなければ正確な予測を立てることはできません。政治と経済は表裏一体の関係にあり、相互に影響を及ぼし合うのです。

経済の専門家というのは、あまり政治の動きを把握しているわけではありません。更に言えば読み解こうともしません。世に溢れる景気・経済、株価、為替予測には政治の要素が抜け落ちているのですよ。新聞も同じことです。新聞社では経済部というセクションが経済記事を書くのですが、彼らはいろんな企業や役所に行って情報収集します。しかし永田町の政治の現場には行きません。あるいは国会の動向に対してもあまり注目しません。政治に関することは政治部というセクションが担当し、政治部は政治部で企業経営者に話を聞くなんてこと殆どしませんね。つまり自分の管轄以外の情報収集はしないのですよ。メディアは縦割りになっており、専門家も同じことが言えます。だから正確な予測、見通しが立たないのだと思います。

高市総理大臣の誕生で起こる変化

先ごろ高市早苗さんが自民党総裁選で勝利を収め、総理大臣に就任されました。これは予想を覆す驚くべきことでしたね。最初の下馬評では小泉進次郎さんが圧倒的に有利だと伝わっていましたがね。実は総裁選の前日「そこまで言って委員会」の収録ではパネリストの皆さんも勝利するのは小泉進次郎さんだと予測していました。私もそうです。でも高市早苗さんにもチャンスはあるとも思いました。というのは党員、党友、地方票は高市さんを推していましたからね。結果、高市さんが総裁に

選ばれました。党員、党友はやはり最も民意、一般有権者の気持ちに近いのです。その前の衆院・参院選挙では自民党が大敗、民意を無視し、党利党略で石破さんを選んだことの結果が今回の総裁選に繋がっているのです。

小泉さんが選ばれたと仮定したケースと高市さんが選ばれたケースを比較すると、日本経済や国民生活には雲泥の差があると思います。44歳で経験も浅い小泉さんが何故、有力な総理総裁候補になっていたかと言うと、バックに重鎮と言われる人たちがいたからでしょう。菅元首相、岸田元首相、当時は自民党きっての実力者であった森山前幹事長が後ろ盾になっていたからなのです。自民党の国会議員はそうした実力者の顔色を窺いながら投票を決めるという状況になっていました。結局小泉さんはコントロールしやすいので御輿に担がれた、ということでしょう。もし小泉さんが総理になっていたら、石破路線が踏襲されていたと思います。石破路線というのは緊縮財政路線です。

2025年7月の参院選では2つの争点がありました。一つは外国人問題。オーバーツーリズムや雇用などの問題です。もう一つは消費税減税をめぐる問題でした。あの時、石破政権の森山幹事長が「消費税を守り抜く」と言ったのですよ。当然、自民党、公明党は大きく議席を失いました。小泉さんはその石破路線を踏襲すると言ったのです。それに対して高市さんは積極財政路線です。財政を出動して、景気・経済をテコ入れしていくのだという方針。緊縮財政の、これ以上借金できないということもわからないでもないですが…。

結果、高市政権になって目の当たりにしたのが、ガソリン暫定税率の廃止でしょう。2025年12月31日に廃止です。政権発足後すぐに円滑な廃止に向けての措置も取られました。もし小泉政権になっていたら、翌年2月以降に引き延ばされていただろうと思います。自民党税制調査会の面々も一掃されましたね。高市さんが総理になったからこそできたのです。誰が総理大臣になるかによって変化が起きてくるのです。

高市政権になって見えてくるもの

高市政権になり臨時国会を開くにあたって行われた所信表明演説ですが、これまでの政権とのそれとは一線を画すものでした。冒頭部分だけでも見ていただければと思うのですが、これからどのように変わっていくかが如実に現れています。今まで所信表明演説をする時はシナリオライターがいて演説文章を作っていました。しかし高市さんの場合は自分で全部アカ入れ(修正・訂正)するのですよ。高市さんの所信表明演説の冒頭に出てくるのは景気・経済対策です。そこに非常に重要な2つのキーワードが出てきます。「経済あつての財政」と「責任ある積極財政」です。これまでの自公政権はGDPの倍以上積み上がった借金があり、とにかく財政を健全化させ、歳出を抑制していかなければならないという方針でした。しかし高市さんの考えは全く違います。国民生活が豊かになることが大事、国民生活あつてこそその財政健全化ではないかというものです。国民生活が豊かになれば経済が成長し、自動的に税収は増え、景気が良くなる—そうするとGDPがプラスになって成長していく、というのが経済あつての財政という考え方です。責任ある積極財政というのは、無駄使いはせず有効なお金は使う、財政の健全性にも責任を負う、というものです。また高市さんは国会答弁で極めて重要な発言をしています。それは、財政の健全性は単年度で実現するものではなく、複数年で考えるべきだということです。

新聞やテレビなどメディアはその真意を伝えていません。ガソリン暫定税率廃止についても、財源をどう確保するのか、問題を先送りするのか、などと批判的なトーンでした。その財源を確保するために他で増税するのかなども囁かれていましたが、増税はしないというのが高市さんの方針です。例えばガソリン暫定税率廃止になれば物流コストが下がり、様々な業種、業界に効果が及んでくるし、個人も消費マインドが高くなり経済成長が促されます。すると所得税、法人税、消費税の税収が上がってくるのです。しかしその効果が出てくるのは2年目くらいでしょう。

高市さんは補正予算に関しても財務省案を突っ返しましたから予算は大幅に増えました。これまたメディアの批判を受けますが、いろんな事情があつて新聞社は財務省に忖度せざるを得ないのではないかと、私は勘繰っていますね。

需要不足の日本をどう導いていくのか

今、何故日本の景気が思わしくないのか、景気拡大しないのかを考えると理由ははっきりしています。需要不足なのです。つまり個人消費と企業の投資が低迷しているのです。特に企業の投資は伸びていません。具体的には、貯蓄率が大幅の黒字という異常な状態なのです。通常の企業経営では、この先、この投資をすれば着実に儲かるとなれば銀行から借り入れたり社債を発行したりして、設備投資をするのです。要するに外部資産を抱えて、まず先行投資をするわけですね。そして年間の利益をもって返していくのです。10年20年というロングレンジでの返済です。ですから見かけ上、短期で言うと企業の貯蓄率は赤字であるケースが殆どです。ところが



ここ近年はずっと黒字が続いています。企業は全く投資していないのです。個人消費もずっと前年比マイナスです。その結果、需要不足に陥っているのです。それは色々な悪循環を招きます。象徴的なのが平成時代でしょう。令和の時代にもそれが残り、まだまだ需要不足が続いてきました。そういった中で石破政権が行ったことは最低賃金の引き上げ。あれはナンセンス。中小企業が疲弊してしまったでしょう。すると雇用を減らしたり労働時間を減らしたりせざるを得なくなりました。企業業績を良くして利益を上げ、自動的に賃金を上げられる環境を作る—これが大事ですよ。そのためにはやはり国が財政出動するしかありません。高市政権になって、2026年、どこかのタイミングで需要が供給を超えてくるのではないかと、私は思っています。それまでは如何に高市政権がきちんと必要な金額の財政出動していけるのかどうかにかかっているのではないのでしょうか。障害になってくるのは、財政の健全化を最優先にしている財務省と、財務省の影響を受けている政治家、そして財務省の顔色を窺うマスコミ、メディアということでしょうか。国会の安定化も懸念材料です。

本来、納税者である私たちが、財政はどうあるべきかを決定していくべき、民意を国会に反映させなくてはなりません。その民意が示された高市政権の誕生ですが、これからどういう方向に動いていくかを、私たちは見極めねばなりません。

経済が好循環に入っていくのかどうか問われる2026年は、この国の大きなターニングポイントの年になるでしょう。



法人会は、税を通して地域社会貢献をめざします。

株式会社 IEC 代表取締役社長 青木 秀人	株式会社 岐阜正商店 代表取締役社長 大河内 克巳	株式会社 清水工務店 代表取締役 清水 一郎 常務取締役 清水 貞夫	株式会社 ディバーチャーズ 代表取締役社長 天野 幹三	丸星商事 有限会社 代表取締役 安藤 之人
足立造園土木 株式会社 代表取締役 足立 一郎	有限会社 木村産業 代表取締役社長 木村 尚仁	重機商工 株式会社 代表取締役社長 城所 真男	東海紙工 株式会社 代表取締役社長 池田 幸平	名三工業 株式会社 代表取締役社長 鳥山 政明
株式会社 油久 代表取締役社長 梶川 将史	有限会社 杏林殖産 代表取締役 振甫 順	株式会社 淑徳サービス 代表取締役 中島 典昭	株式会社 東名サービス 代表取締役 柴田 一成	森洋運輸 株式会社 代表取締役社長 杉山 孝史
株式会社 HC. Home's 代表取締役社長 細川 雅也	窪田エンジニアズ 株式会社 代表取締役 窪田 徹	昭興テック 株式会社 代表取締役会長 田部井 良和	名古屋油糧 株式会社 代表取締役 長谷川 徹 代表取締役 長谷川 順	矢野コンクリート工業 株式会社 取締役 矢野 正剛
株式会社 栄和工業 代表取締役社長 中嶋 武	クリーン商事 株式会社 取締役 山田 茂子	合資会社 新楽園茶舗 代表社員 後藤 和裕	西川コミュニケーションズ 株式会社 代表取締役社長 西川 栄一	株式会社 ヤマケンビル 代表取締役 加藤 謙一
株式会社 エムズ 代表取締役社長 牧野 敬充	啓周ビル 株式会社 代表取締役 野々垣 雄介	伸和交通 株式会社 代表取締役社長 大和 直樹	東山遊園 株式会社 代表取締役社長 水野 宏洋	株式会社 豊造園 代表取締役 小野 天下
エレックヒシキ 株式会社 代表取締役社長 下出 啓介	高坂 株式会社 代表取締役 高坂 恒裕	株式会社 ダイワエクセル 代表取締役社長 水野 善仁	フジクリーン 株式会社 代表取締役会長 渡辺 嘉一	吉岡電気工業 株式会社 代表取締役社長 吉岡 正人
オオタ建設 株式会社 代表取締役 太田 和孝	株式会社 コスモ開発 代表取締役社長 高木 俊郎	株式会社 タケコシ 代表取締役社長 木村 圭佑	不二平建設 株式会社 代表取締役社長 熊坂 和美	株式会社 義金 代表取締役 牧野 良紀
医療法人 オリエンタルクリニック 理事長 廣瀬 光彦	株式会社 サンエイテクニクス 代表取締役社長 寺尾 洋太	株式会社 武田ライフ 取締役会長 鈴木 篤	株式会社 フタバ造園 代表取締役社長 名倉 裕一朗	有限会社 ランドマーク 代表取締役 加藤 隆士
株式会社 オリジナル 代表取締役社長 松岡 正樹	三永ビルド 株式会社 代表取締役 山口 義浩	株式会社 茶屋坂自動車学校 代表取締役社長 鈴木 賢一郎	宗教法人 芳珠寺 代表役員 星屋 典応	公益社団法人 名古屋中法人会 専務理事 蟹江 健治
株式会社 嘉戸工務店 代表取締役 大岩 洋介	株式会社 三喜サービス 代表取締役 大岩 雅子	中日コプロ 株式会社 代表取締役社長 本多 誠之	有限会社 マールビジネスカンパニ 代表取締役 西脇 淳	高井 淳子
株式会社 川島鉄工所 代表取締役社長 川島 義久	株式会社 三東 代表取締役 杉浦 健吾	中部土木 株式会社 代表取締役社長 難波 陽一	株式会社 松枝衣裳店総本店 代表取締役社長 松枝 伸佳	公益社団法人 千種法人会 会長 廣瀬 光彦 事務局一同

納税表彰式

日時:令和7年11月13日(木) 14:30~15:45
会場:ホテル ルブラ玉山

名古屋国税局長表彰(10月31日表彰)

振甫 順 氏 (有杏林殖産 (公社)千種法人会副会長)

千種税務署長表彰(11月13日表彰)

加藤 ひとみ 氏 (有ランドマーク (公社)千種法人会理事 前女性部会長)

千種名東税務推進協議会長表彰受彰者(11月13日表彰)

犬飼 勇 氏 エレックヒシキ(株) (公社)千種法人会理事 一社支部長



振甫 順 氏



加藤 ひとみ 氏



犬飼 勇 氏

令和7年度 納税表彰式



左より、須田副署長、加藤ひとみ氏、廣瀬会長、小池署長、振甫副会長、犬飼理事、山田統括官

新設法人説明会

日時:令和7年11月4日(火) 14:00~15:00
会場:千種税務署

広報委員会

日時:令和7年11月11日(火) 18:30~19:30
会場:ホテル ルプラ王山
議題:ちくさ12月号について
ちくさ2月号の企画について

源泉所得税研修会

日時:令和7年11月14日(金) 13:30~15:00
会場:昭和ビル 9階ホール
主催:千種法人会・名古屋中法人会
研修項目:税制改正内容
毎月の給与や賞与の税額計算
現物給与(経済的利益)
報酬・料金
非住居者
退職金の税額計算 など



令和7年度税制改革に係る 年末調整事務研修会

日時:令和7年11月19日(水)・20日(木) 13:00~14:30
会場:ホテル ルプラ王山
講師:千種税務署 法人課税第一部門統括官 山田 純子 氏
千種税務署 上席調査官 河合 利蔵 氏



山田法人第一統括官



河合上席調査官



青年部会・女性部会
合同研修会

日時:令和7年11月18日(火) 17:00~18:00
会場:ホテル ルブラ王山
意見交換会/懇談会/フードドライブ



小池署長



須田副署長



山田法人第一統括官



廣瀬会長



小野女性部会長



細川青年部会長



研修会参加者が食料品を持ち寄り寄付しました



税務連絡協議会
税に関する優秀作品表彰式

日時:令和7年11月16日(日) 11:00~12:30
会場:ホテル ルブラ王山



税に関する絵はがきコンクール
優秀作品



千種税務署長賞
大喜 若菜さん
富士見台小学校6年



千種税務連絡協議会 会長賞
村瀬 彩さん
千種小学校6年



千種法人会 会長賞
小澤 彩夏さん
高見小学校6年



千種法人会 女性部会 部会長賞
川原 麻衣さん
上社小学校6年